

## 令和 8 年度都立第四商業高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
<b>国語</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正確に「読むこと」の指導の充実</li> <li>・適切に「書くこと」「話すこと・聞くこと」の指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項や進捗について随時確認し合い連携する。</li> <li>・社会生活を営む上で必要な知識、読解力、コミュニケーション能力の確実な習得のための教材を計画的に実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な表現活動や意見共有を様々な方法で行うことで、対象を客観視する言語活動を行う。</li> <li>・単元ごとにグループ学習を適宜取り入れ、自身の思考をアウトプットする機会を設ける。</li> </ul>
<b>地歴・公民</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料活用の技能を身に付けさせる指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞、統計、地図等の諸資料から学習上の課題解決に必つながら情報を読み取る活動を行う。</li> <li>・課題解決の過程において、まとめた情報を発表する活動を取り入れた授業を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ学習で課題解決の過程について振り返る活動を通して、自らの学習を調整しようとする側面を評価する授業を実施する。</li> </ul>
<b>数学</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着</li> <li>・数学的な考え方を働かせた数学的活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習動画やPCを利用した課題を使い、基礎学力の充実を図る。</li> <li>・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を取り入れた授業を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決の過程を振り返ることで、正解への近道や間違えの指摘等を、グループワークや個別の学びを通じて評価・改善したりしようとする態度を評価する授業を実施する。</li> </ul>
<b>理科</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学的な思考力を育む活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の実施回数、種類を充実させる。</li> <li>・対話的活動により生徒間での学習を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の計画、予想、考察を生徒に行わせる。</li> <li>・時事的な題材を取り上げ、身近な事物・現象に進んでかかわり、科学的に探求しようとする態度を醸成する。</li> </ul>
<b>保健体育</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の保持増進と体力の増強の充実</li> <li>・運動技能の向上、課題解決を目指す指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体カテストの結果を踏まえ、自己の体力の振り返りを実施する。</li> <li>・課題解決の過程において、生徒自らが考察し活動する授業の取り組みを実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康についてディスカッションを取り入れ、互いに考察する発展的な授業を実践する。</li> <li>・生徒自らが問題解決の過程を振り返り、考察を深めたり、評価・改善したりしようとする授業を実施する。</li> </ul>
<b>芸術 【音楽Ⅰ】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を愛好する心を養う。</li> <li>・基礎力をつける・音楽を通して主体的に学ぶ力を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱、器楽、楽典、音楽史等において、基礎から丁寧に学び直す。</li> <li>・生徒が興味を持ちやすい楽曲を器楽学習、歌唱実習に取り入れ、音楽を愛好する気持ちを養う。</li> <li>・創作活動やグループ実習を通して主体的な活動を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作作品やカップスのグループ実習での演奏を発表する。</li> <li>・音楽アプリ「flat」を用いたりズム創作を行う。</li> </ul>
<b>芸術 【美術Ⅰ】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う指導内容の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意図に基づいて表現するための技能を身に付けるための内容の充実。</li> <li>・創造的な表現の工夫のために、芸術のよさや美しさ深く味わえる作品の提示。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的な取り組みを重視し、生涯にわたって芸術を愛好する心情を育てる活動。様々な教材を通して、伝統や文化に親しむとともに見方や感じ方を深め、表現の創意工夫につなげる活動実践。</li> </ul>
<b>芸術 【書道Ⅰ】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作の土台となる基本的な表現技法の修得</li> <li>・創作活動に応用するための様々な表現技法の学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字、仮名の基本的な表現技法を繰り返し学習する。</li> <li>・各古典の特徴を生徒に把握させ、各古典の表現技法を創作に応用するための方法を理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術活動の一つのポイントである「変化とまとまり」が、日常生活でも応用できるように、書の具体例を紹介し、「変化とまとまり」がある作品の表現技法を学習させる。</li> </ul>
<b>英語</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「インプット」と「アウトプット」の指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洋書多読を実践する。</li> <li>・英字新聞を活用したNIEを実施する。</li> <li>・授業開始直後に1分間スピーキング活動を実施する。</li> <li>・各科目で学期に1回以上プレゼンテーション等のパフォーマンステストを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全商スピーチコンテスト、EBPCへ参加する。</li> <li>・TGGへ参加する。</li> <li>・スマスク端末を活用したオンラインスピーキングテストを実施する。</li> <li>・洋書を使用した授業内ビブリオバトルを実施する。</li> <li>・短期語学留学を促進するための体制整備を行う。</li> </ul>
<b>家庭</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生活を創造する力(生活マネジメント力)」を育成する指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブラーニングを通じて、主体的で対話的な深い学びを重視した授業を実施する。</li> <li>・実習や体験活動の内容を見直し、より充実したものにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互授業参観を行い、評価方法も含めた指導の充実を図る。</li> </ul>
<b>商業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、合理的かつ創造的に解決する力を養う。</li> </ul>